

ZIPANGU

Investment Insight Into Japanese Corporations

A Highly Targeted Audience
海外機関投資家向けIRマガジン

2012年1月31日発行号

【広告ご出稿のご案内】



ZIPANGU
JAPAN

Horizons, and Beyond

発行 株式会社ジパングジャパン
編集協力 日本証券新聞

ZIPANGUとは

日本株を運用している海外機関投資家に向けて、

日本企業への投資情報を英文にて提供する

新しい形式のIRコミュニケーションツール。

マガジンスタイルの誌面構成で制作され、

機関投資家個人名宛てに配布される一種のフリーマガジンです。

配布先は約3,000名の投資家です。

欧州42%、北米32%、アジア・中東・オセアニア26%

と世界中に配布されています。

日本証券新聞社の協力で制作される特集記事と

記事広告（企業取材等で制作）で構成

取材においては、インタビューや撮影も可能です。

記事広告の利用で

**日本株投資を行っている海外機関投資家約3000人*に
貴社への投資勧誘を直接行えます**

* 最新の配布先リストは<http://www.zipangu-japan.jp/>にて見ることができます。

ZIPANGUの編集

**海外機関投資家は、
経営者が自社のビジョンを
丁寧に説明することを求めています**

ZIPANGUでは

「企業は投資家に何を訴えるかを明確にする」

を編集方針に掲げ

貴社の要望を最大限に活かした記事を作り上げてます

海外機関投資家の求めるコンテンツを熟知している

日本の文化、社会を理解し、日本企業を理解する

ZIPANGUの編集スタッフが

海外機関投資家、日本企業の双方が納得出来る記事を提供

編集テーマは、基本的に時世や市場の状況を勘案しながら柔軟に決定しております。海外機関投資家の関心を揺さぶり、日本への投資意欲を掘り起こすテーマであれば、積極的に採用しています。投資家の知りたい要望も、記事広告出稿企業の伝えたい要望も、可能な限り実現して行きます。

ZIPANGU今後の特集テーマ予定

特集テーマ

新興市場を狙う日本の有望企業群

～ 新生日本の成長を担う次代のリーディングカンパニー～

企画趣旨

縮小する内需を補い新たな成長力を得るために、新興国市場に次の成長ステージを求める企業。

医薬品・エネルギー・鉄道・発電・プラント・自動車・クラウド・食品・飲料など、様々な業種の日本企業が、各社各様の戦略のもとで、チャンスを狙っている。

各業界のリーディングカンパニーに聞く、新興市場に的を絞った戦略と今後の計画と展開、日本経済にもたらすインパクトを聞く。

頁構成：表紙+p.3右頁～p.8

特集テーマ

新たなビジネスモデルを輸出せよ

～ 日本の成長株 本当の未来～

企画趣旨

アミューズメント業界では、キャラクターなどのソフトや周辺機器などの施設回りのパッケージされたハード&ソフトなどのビジネスモデルを輸出。

オンラインゲーム業界では、ゲームソフトやキャラクターだけでなく、携帯電話やクラウドコンピューティングと結びついたネットワークサービスを海外への提供する開発が進んでいる。

現場従業員の待遇が悪く、雇用問題を抱える福祉介護サービス業界では、国内で構築したビジネスモデルを、海外市場（特に中国）へ輸出しようという構想が膨らむ。

国内で創出したビジネスモデルを海外に輸出し新たな市場獲得を目論む企業に、その戦略と展望、海外展開の課題、海外機関投資家への期待を聞く。

ZIPANGU 特集テーマその他

新たなビジネスモデルを輸出せよ。

2030年高齢化市場の中の成長業界はどこだ

長寿への挑戦、ヘルス케어

資源エネルギー すべてが成功するわけじゃない

～一番有望なエコ・エネルギー業界はどこだ

日本のエネルギー、新分野を求めて

短期超有望市場「建設業界」の本当の有望度

これから再び熱を帯びる不動産業界の将来性

ダメ日本市場の象徴「新興市場の」の中の有望企業

震災から半年 復興企業の紹介

ESG投資（グリーン投資）を追う

キラリと光る“ものづくり”の匠企業

復興の牽引役 サプライチェーン

ZIPANGUの誌面構成

編集記事ページと広告記事ページ・純広告ページ合わせて28ページから40ページで構成。

広告記事 「表紙+カバーストーリー」
(発行号1社様限定 表紙+6頁のトップインタビュー記事広告)

広告記事 「コーポレートメッセージ」
(社数限定なし 1社3ページの記事広告)

- ・記事広告は貴社とお打ち合わせの上、取材・制作いたします。
- ・取材時間は写真撮影を入れて1時間ほどかかります。

編集記事 編集部独自の取材によって制作するビジネステーマの記事です。

夏号 広告記事 「表紙+カバーストーリー」
ユナイテッドアーバン投資法人様



夏号 広告記事 「コーポレートメッセージ」
バンクオブアメリカメリルリンチ様



夏号 広告記事 「コーポレートメッセージ」
東京製綱株式会社様



媒体概要

媒体名	ZIPANGU (ジパング) 英文マガジン		
創刊	2009年2月	発行	年2回(7月、1月)
投資家配布先	欧州42%,北米32%,アジア26%	発行部数	3,382部(保証3,000部)
ターゲット読者層	海外40数か国の日本株担当機関投資家および海外メディアその他		
媒体の内容	株主判明調査によって海外の日本株運用者を割り出し、直接個人名宛てに無料配布するマガジンです。		

掲載料金

*すべての料金は、消費税別です。記事広告の制作費は含まれます。

記事広告掲載ページ		体裁	掲載料金
表紙+カバーストーリー	発行号1社様のみ限定	表紙写真 +カバーストーリー6頁	250万円
コーポレート・メッセージ	日本語で約3,000文字 のメッセージ	3ページ	130万円
純広告掲載ページ		体裁	掲載料金
表2・3・4,中ページ	縦273mm x 横203mm	1ページ	60万円
中ページ横	縦136mm x 横203mm	1/2ページ	30万円
中ページ縦	縦273mm x 横101mm	1/2ページ	30万円

スケジュールとオプション

スケジュール	表回り・コーポレートメッセージ 縦切	表紙締切	純広告(在版) 入稿締切	最終入稿日	発行日
	12月9日(金)	12月9日(金)	1月17日(火)	1月17日(火)	1月31日(火)
オプション	掲載ページのリプリント制作も承ります。*費用は部数、体裁によって異なりますのでお問い合わせください。				

ZIPANGU2012 エディトリアル・ポリシー

不確実性の中での R

～ 企業は海外投資家に何を訴えるかを明確にする～

震災・欧州危機など企業を取り巻く不確実性はもはや保険でカバーできるリスクではありません。予想が外れると保険まで破たんが飛び火するようなリスクに直面しているからです。我々の資本主義経済では常に不確実性が伴うことは当たり前のことだと再度認識するべきでしょう。このような中で今までの R だけでは難しくなっています。この不確実性の中で、投資家も大きく変化しました。日本の某生保が株式運用の比率を下げたように、国内の銀行・生保など金融機関の株式保有比率は低下しています。一方で日本企業に対する情報蓄積を進めてきた海外投資家は日本のアセットマネジメントへの運用受託を増やすなどの動きも見られます。資金を最終投資家から集めたり借入をして運用しているヘッジファンドは欧州不安などから資産を圧縮する行動を強いられていますが、アジアを中心とする政府系ファンドや年金などからの資金流入は確実に増えているからです。また不確実性が高まる中での運用手法にも変化が見られます。つまり低リスクの名の下でのパッシブ中心の運用ではもはや収益が追い付かなくなってきたのに対し、不確実性が高まるなかで高変動性はアクティブ運用に有利に働きます。

この投資家の行動変化のなかで、Rはどのようにしたらいいのでしょうか。企業側からするとまず、投資収益を目的として株式を保有する株主つまりアウトサイダーと、経営および経営者と有効関係にあり、株価以外の関係から株式を保有するインサイダーを区別して考えなければなりません。企業間も持合いは大きく解消されアウトサイダーの比率は高まるばかりです。アウトサイダーの雄としてここ10年近くで増加したのが外国人株主でした。この海外投資家の増加が企業経営を近視眼的にしたといった批判がありますが、実際は欧米企業より積極的にR&Dを展開してきた長期的経営の日本企業を彼らは評価しています。むしろR&Dや広告・宣伝費などの支出削減は悪いニュースとして評価されます。

彼らはここ数年の日本企業の企業統治の整備を評価しており、これからは経営者が経営効率やファンダメンタルズの改善に向け自社のビジョンを市場に丁寧に説明することを望んでおります。つまりこれからの企業統治の課題は経営者を規律するだけでなく、その裁量を保障し、企業価値を引き上げる仕組みをつくる点にあります。そのためには企業は投資家に対し信頼を基礎とした友好的関係を形成しなければなりません。ZIPANGUでは企業から前向きに情報を発信するためのマガジンとしてその期待に応えるものと確信しております。

目的にあわせ、貴社記事広告および純広告のご提案をさせていただきます。

広告記事、 IRブランディング・報告として、ご活用ください。
純広告 海外の機関投資家向けに貴社ブランド・マーケティングに、
ご活用ください。

ZIPANGU
JAPAN

Horizons, and Beyond

株式会社ジパング ジャパン
メディア・センター
〒104-0033
東京都中央区新川2-9-3-901
担当 吉野 Tel 03-5812-4612

創刊から4回の発行を重ね、ZIPANGUも日本株担当運用者及びアナリストにも広く読まれ、日本の経済・企業を知る媒体として評価され始めております。これから海外投資家への資本政策を始める企業や、すでに高い外人投資家比率を持つ企業による海外IRや投資家向けイベント前後に掲載されるのも効果的です。株式市場が常にグローバルで評価される以上、海外投資家への積極的かつ定期的な情報の発信こそが、企業のグローバルブランド構築への第一歩と考えております。

是非、ジパング・ジャパンが提供する海外投資家向けマガジンZIPANGUへご参加をご検討ください。

過去発行アーカイブ記事が以下のアドレスにて(日本語・英語)見れます。

<http://www.zipangu-japan.jp/>